

主張

三重県保険医協会では、「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会と共に4月下旬から保険でより良い歯科医療を求め、請願署名に取り組んでいる。

今回署名の表題が以前から使われていた「良い歯科医療」から「より良い歯科医療」に変わったことは大きな意味がある。今まで会員の先生方と患者さんと一緒に取り組んできたこの請願署名も一つの大きな力となつて、ここ2回の診療報酬改定を経てCAD/CAM冠をはじめとする奥歯に白い歯が導入され、高

齢者や小児の口腔機能に関する項目などが導入されてきた。会員の皆さんには、私たち医療従事者と患者さんたちとの運動が緩やかな歩みではあるが前進していることに確

信を持っていただきたい。しかしいまだに、長年診療実績のあるメタルボンドをはじめ、オールセラミックス、ジルコニアなどの新素材は、審美性だけでなく、アレルギーを誘発しにくいことやデンタルブランクが付きにくいなどの生物学的許容性などの利点があるにもかかわらず保険導入されては

いない。また装着感と耐久性・強度でレジン床用ではないために経済的な理由で多くの子どもが矯正治療を受けられない現実がある。歯並びやかみ合わせが悪ければ咀嚼・嚥下に影響し、う蝕や歯周病に罹患する可能性が

保険でより良い歯科医療を 求める請願署名にご協力を

信を持っていただきたい。しかしいまだに、長年診療実績のあるメタルボンドをはじめ、オールセラミックス、ジルコニアなどの新素材は、審美性だけでなく、アレルギーを

誘発しにくいことやデンタルブランクが付きにくいなどの利点があるにもかかわらず保険導入されては

いない。また装着感と耐久性・強度でレジン床用ではないために経済的な理由で多くの子どもが矯正治療を受けられない現実がある。歯並びやかみ合わせが悪ければ咀嚼・嚥下に影響し、う蝕や歯周病に罹患する可能性が

引き下げてください」「保険のきく歯科治療を増やしてください」「歯科医療の充実に必要な費用は、国の責任で確保してください」の3点は喫緊の実現課題である。口腔の健康は、全身の健康につながる。歯科だけではなく、内科の先生方にもぜひ署名をたくさん集めていただきたい。署名は今年まで続くが、来年の診療報酬改定を見据えて6月6日(木)参議院議員会館で開催される「保険でより良い歯科医療を」全国連絡会主催の歯科総決起集会に、ぜひとも歯科・内科問わず会員の皆さんの多くのご参加をお願いしたい。